



平成26年4月11日

各 位

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン
 代表者 代表取締役社長 八百 博徳
 (コード番号 7608)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 川上 優
 (TEL 06-6765-0670)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,700	△110	△100	△118	△14.35
今回修正予想(B)	7,020	△164	△165	△178	△21.74
増減額(B-A)	320	△54	△65	△60	
増減率(%)	4.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	8,278	146	149	117	14.28

平成26年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,050	△150	△120	△123	△14.95
今回修正予想(B)	4,263	△147	△120	△107	△13.08
増減額(B-A)	213	2	△0	15	
増減率(%)	5.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	4,916	52	60	87	10.62

修正の理由

(1)連結業績

売上高につきましては、第2四半期までは、前期ヒットした「AKB48」関連グッズに替わる商材を確保することが出来ず、極めて厳しい状況となりました。第3四半期以降は、新たなキャラクターのヒットもあり、キャラクター・ファンシー事業が好調に推移したため、前回の予想を上回る結果となりました。

営業利益、経常利益および当期純利益につきましては、固定費の見直し等経費削減に努めましたが、オリジナル商品の構成比が下がったことによる利益率の低下の影響で前回の予想を下回る結果となりました。

(2)個別業績

売上高につきましては、第2四半期までは、前期より引き続き好調であった「星のカービィ」や、今期から本格的な展開を開始した「ひつじのショーン」「おさるのジョージ」等がありましたが、市場で人気のあるご当地キャラを中心とした「ゆるキャラ」のオリジナル商材を確保出来なかったこと等により、極めて厳しい状況となりました。第3四半期以降は、SP部門の業績が、雑誌の付録を中心に好調であったことにより前回の予想を上回る結果となりました。

営業利益、経常利益および当期純利益につきましては、ほぼ前回の予想どおりの結果となりました。

以上